

Plan Do Check Action



「俯瞰する」

前朝日町教育委員会
教育長職務代理者 石坂博信

去る10月23日で朝日町教育委員の任期を終えたところですが、町民の一人として、早くも朝日町の教育施策を俯瞰的に捉えてみました。

<先の見えない厳しい教育環境>

将来予測が困難な激動の時代と言われているなか、教員の確保対策、GIGA スクール構想をはじめとする教育 DX の推進、Society5.0 で活躍する創造力、課題発見・解決力を備えた人材の育成などが求められています。

とり分け、若手教員の離職要因となっている働き方改革は喫緊の課題といえます。

<朝日町の取り組みを俯瞰>

朝日町では、これまで他の市町村或いは全国に先駆け、デジタル教科書の導入やオンライン授業などの ICT 教育の充実、切れ目のない学びを推進する保小中一貫教育の導入、コミュニティー・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、中学校部活動の地域移行と教員の働き方改革など、トップランナーとして様々な取り組みが進められてきました。

これらについては、課題発見・解決のための公開授業等の実証実験や保護者アンケートの実施など、客観的な根拠を重視した施策が積極・果敢かつ謙虚に進められ、まさに「Plan Do Check Action」として発信されています。

<人生を精一杯生きたい>

本年1月、「はたちの集い」の参加者から「社会に貢献できるよう人生を精一杯生きたい。」との希望に満ちた誓いの言葉に接し、これはまさに、朝日町の教育目標である「ふるさと朝日に愛着を持ち、新しい時代にたくましく生きる子供の育成」の明快な具現化です。

粉骨砕身頑張り育てこられた教職員の皆様のご努力によるものであり、町民として誇りに思ったところであります。

<感謝と期待>

このように朝日町では、地に足の着いた、かつ、大胆な改革が留まることなく進められ、まさに教育の「不易」と「流行」が実践されているといえます。

そして、五木寛之風に語るならば、「教育関係の皆様方には、大河の如き溢れ出る感謝と期待の一滴を」今ここに記させていただきました。

今年度の研修会から

現地学習会 8月2日(金)

昨年度に引き続き、地域学校協働活動推進員の水野瑠美子さん、まいぶんKAN学芸員の川端典子さんを講師にお迎えし、現地学習会を行いました。「ふるさと科」の授業でどのように教材として取り上げることができるかを考えながら、町内を巡りました。

【参加者から】

- ・舟川べりの桜並木ができた経緯や守り続ける人たちの苦労がより詳しく分かった。また、土器を見るだけで歴史を知ることができると思った。朝日町のよさを再度知ることができるよい機会となった。
- ・普段車越しに見ていた施設や場所に訪れ、専門の方のお話を聞きながら見て回れたことがとても貴重な機会だった。教科書で学習した歴史になぞらえながら、朝日町の歴史を知ることができた。遺跡や明治記念館等、学習をさらに深めることができる文化財が身近にあることを知ることができよかった。



【明治記念館】

小中学校教育講演会 8月26日(月)

講師：株式会社 教育と探求社 代表取締役社長 宮地 勘司 氏
演題：「探究」で取り戻す「学ぶ喜び」



教育の力で社会を変えるというビジョンに基づく具体的な取組や探究学習の重要性について、具体的に分かりやすく、実践的な講話をいただきました。

【参加者から】

- ・子供のやる気、意欲を高めるための教師の働きかけや何でも言える学校風土が大切だと感じた。
 - ・「自分を好きになることが一番大切」「心が動いたときに学びになる」の2つの言葉が印象に残った。主体的な学びに向けた自分自身の向き合い方を見つめ直すよい機会となった。
- ・主観を話しても否定されない温かい場をつくるのが子供の学びを支える、力を育てることにつながるがよく分かった。
 - ・主体的に追求していける場を用意することの大切さを改めて考えさせられた。まだまだ教師主導の授業が多く、子供は間違いを恐れて黙っている。これからは子供が主語になる授業をどんどん実践していかなければいけないと思った。

若手教員研修会

6月19日(水)

3年次までの先生方を中心に集いました。コロナ禍でなかなか他校の先生方と接する機会も減ってきており、まずは自己紹介からスタート。アイスブレイクや情報交換を通して、徐々に距離が縮まったようでした。



保小中一貫教育行事から

ビーチボール競技交流会 6月11日(火)

小学校5年生が「ふるさと科」の学習として朝日町で誕生したビーチボール競技を体験しました。ビーチボール協会の方々から、ルールやプレーのこつ、審判（ラインズマン）の仕方等を教わりました。子供たちは、ビーチボール競技を楽しみ、交流を深めました。



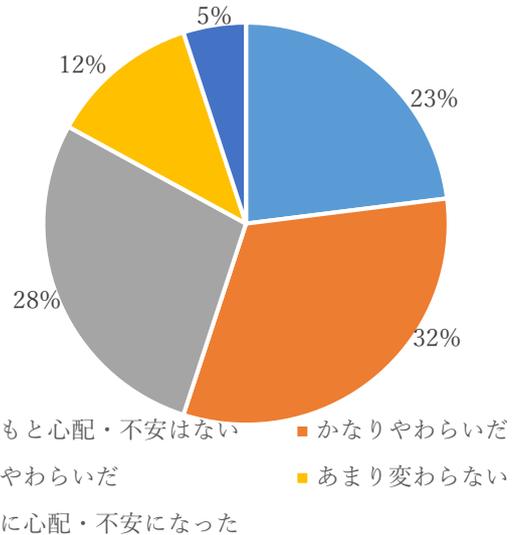
中学校体験入学 9月12日(木)

あさひ野小学校・さみさと小学校の6年生60名が朝日中学校へ半日体験入学をしました。社会科・英語科の体験授業や先輩たちの授業見学をとおして、中学校生活を体感する機会となりました。5年生の頃から様々な行事で交流を重ねてきている6年生は、グループ学習や休憩時にも積極的に交流する姿が多く見られました。

【6年生へのアンケート結果から】

質問項目	大変よかった・よかった とてもできた・できた の合計
授業体験	100%
学校見学・ 授業見学	98%
他校の友達 との交流	77%

進学に向けての心配や不安な気持ちは？



【6年生の感想から】

- ・中学校の授業の仕方や校内の様子、中学校の先生方の名前など、進学に活かすことのできる情報をたくさん知ることができてよかったです。「一生懸命はかっこいい」を意識して、残りの小学校生活での学習に『一生懸命』取り組んでいきたいです。
- ・中学校の勉強が難しそうだったので、全体的に勉強をがんばりたい。
- ・分からないことだらけだったけど、先生方が優しく対応してくださって、すごい分かりやすかった。
- ・あさひ野の人たちに話しかけて友達が増えたので、安心して進学できます。
- ・さみさと小学校との交流をより深めることができたし、中学校へ行くことが不安だったけど、体験入学で不安より楽しみになった。





今年度は、「クラシックを遊ぶ音楽実験室」をテーマにコンサート活動を続けるピアノとヴァイオリンのデュオ「スギテツ」を招いての公演会でした。保育園年長児、あさひ野小学校6年生、朝日中学校3年生、さみさと小学校全児童の約420名が参加しました。「剣のずいずいずっころばし」「犬のおまわりさんの運命」等、子供たちだけでなく大人も「聴くだけでなく観て楽しい」ステージを満喫し、「クラシック音楽」への興味を自然にもつことができました。「ラデツキー行進曲」では、音楽記号を学びながら手拍子でコラボし、全員参加型の演奏を楽しみました。

【教職員のみなさんの感想：アンケートより一部抜粋】

保育園

- ・園児でも分かりやすい音楽の話と映像を加えたりかけ声や拍手を取り入れたり、演奏と一緒に参加しているかのように楽しむことができた。中には、集中力を持続することが難しい子供もいるため、今回のような音楽会は参加がしやすかった。
- ・日頃聴くことのないバイオリンやピアノの音色、子供たちの好きな曲が演奏されていたので喜んでた。音の強弱に合わせて手拍子をしたり、「ブラボー」とかけ声をしたり、会場が一体となってよかった。
- ・楽器や音楽に関する知識がつき、進行の展開もよく、大変楽しい時間を過ごせた。保小中の子供たちが同じ空間で芸術に触れ、感動や楽しさを共有できた。

小中学校

- ・普段聴くことのできない、クラシック音楽を間近で感じることができ、子供たちの心に響いていた。
- ・堅苦しい音楽会ではなく、ユーモアがありみんなが楽しめた。プロの演奏を間近でみたり聞いたりできよかった。時間も丁度よかった。
- ・子供たちが楽しみながら音楽を聴くことができた。楽しく「学べる」構成が素敵だった。

研修会のお知らせ

内 容：「問いが持つ力」に関する研修
 日 時：令和7年1月31日(金)
 14:00～16:00(受付13:45～)
 場 所：朝日中学校 ランチルーム
 講 師：教育と探求社 佐原 大河 氏
 受講者：朝日町小中学校教職員

発行：朝日町教育センター

〒939-0743
 富山県下新川郡朝日町道下 1053-1
 TEL/FAX (0765) 83-0279
 E-mail asahi-ec@tym.ed.jp
<https://center.asahischool.jp/>